キャラクター名	プレイヤー名
手癖川　累（てくせがわ　るい）	

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	泥棒	カヴァー	アニメイツ店員
オプショナル		年齢	21	性別	女性

覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	28　%
出自	父親不在	経験	盟友	邂逅	任意：推し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	1	0			3
精神	2	0	2			4
社会	4	0	0			4

HP	26
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：自動車(AT)	2		芸術：盗み	1		知識：インターネット	2		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：動画制作	1		知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
モバイルPC	
携帯電話	
思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
[母親]手癖川　里衣子	P　尊敬	N　嫉妬		
[友人]もちもちベーグル(NN)	P　友情	N 劣等感		
[推し]星川　希望	P　傾倒	N 疎外感		
[シナリオ]当選金	P　執着	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	8	残り財産P：	2(0)

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
棘の縛め	5	1	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果：<RC>ATK+[LV]射撃、DMG1点以上で硬直付与								
得意領域	3	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：R中<RC>使用判定D＋LV個								
コンセントレイト<オルクス>	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-(下限値7)								
支配の領域	1	6	オート	視界	単体	自動	-	
効果：判定D振った直後宣言、出目を1つ1に変更(判定中でも宣言可)1判定1回、1シナリオLV回								
妖精の手	1	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：判定D振った直後宣言、出目を1つ10に変更(判定中でも宣言可)1判定1回、1シナリオLV回								
機械の声	1	-	メジャー	至近	特殊	自動	-	
効果：推しイベ周回とか抽選をPC自動化：<RC>任意								
仕組まれた幸運	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：物事を少しだけ自分に有利に出来る								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

全力オタ活女子。推しに貢ぐ為に今日も盗みを頑張ります
最推しは「電脳閃姫　ウェブレイブ」の主人公：星川　希望とその幼なじみ：天河　歩夢。

幼い頃に両親は離婚。母親に引き取られた累は女手一つで育てられることになる。
愛される人柄の母のお陰で、何とか路頭に迷わずには済んだが、生活は裕福とは言えなかった。
趣味に使えるお金も無く、どこかに遊びに行く当てもない累にとって、母方の実家である玩具屋が遊び場であり全てだった。
何とか高校までは通えたが、大学に進むのは経済的に厳しいと判断し、自ら進んで働くことを選んだ。
就職活動を始めた矢先、玩具屋が潰れた。元々売り上げが多かった訳ではないが、どうやら転売屋による影響が大きかったらしい。
潰れた事による借金などで実家の家計も火の車。自分を大切にしてくれた母達にこれ以上無理をさせてはいけないと、累は家を出た。

高卒、家無し、身内も頼れない。そんな彼女を雇う企業はそう無く、日銭を稼いではホームレスに近い生活をしていた。
そんな中で累は自分の才能に気付く。「盗み」と「土壇場の運」だ。
最初は夜の街でぶつかったサラリーマンが落とした財布。次は公園のベンチで休んでいた女性のポーチ。偶然も重なれば必然。
基本的にターゲットは裕福そうな人、もしくは悪い人。一度に手に入れる物は少なく。そして長く。大それた事はしない。
そんな信条のお陰か、今日に至るまで彼女はほどほどに余裕のある暮らしをする事が出来ている。　※程々なのは大体すべて推し金に消えるから。
小さいが趣味に没頭できる部屋。少ないけれど名無しで届ける母への送金。推しに貢ぐ愛。
彼女の生活は彼女としては充分幸せだった。それでも、街を歩けば他人の幸せが一層輝いて見えて、いつも心がぐるぐるとしていた。

ある日、新商品の告知がされた。電脳閃姫　ウェブレイブ　星川　希望と天河　歩夢の限定セットフィギュア＋オリジナルドラマCDの発売だ。
推しへの献金をどうしようか考えていた累だったが、自分のお金が”盗まれている”事に気付いた。
マズイ。これは本当にマズイ。今を逃したら100%あの限定フィギュアたちは手に入らない。何なら生活費もない。詰んだ。
そんな累の耳に飛び込んできたのは、見知らぬ家族が宝くじで一等を当てたという喜びの声だった―――。